

42 ベンケイガニ

(ベンケイガニ科)

兵庫県ランク:B

Sesarmops intermedia

環境省ランク:指定なし

種の概要

房総半島、男鹿半島以南に分布する。甲幅35mm。河川の中州や海岸沿いの斜面などに穴を掘っている。成体は陸生に近く、樹木で被われたような薄暗い環境を好む。体色は朱色で個体により濃淡の差がある。甲の側縁前方に切れ込みがあり、これにより大きさや色彩の似るアカテガニ(その他無脊椎動物Bランク)と識別できる。また、アカテガニと異なりハサミ脚は小顆粒で覆われ、つやがない。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			△				△

県内分布

神戸市、加古川市、たつの市、赤穂市、新温泉町、洲本市、淡路市

県内における生息状況及びその他特記事項

ランク変更なし。播磨東部から西部、淡路島及び日本海側で記録があり、これらの地域では比較的好適な生息環境が残されている一方で、神戸・阪神地域では本種の生息に適する環境はないと思われたが、最近になって神戸市で記録された。

保護上の留意点

本種の好む環境が保全されている河川は県内東部には皆無と言ってよい状況である。河畔林などの河川と後背地が一体になった環境を保全することが必要とされる。しかし、神戸市では極めて人工的な環境で少数が記録されており(土井・青山, 2013)、環境要因さえ整えば、たとえ都市部であっても本種の個体群が比較的速やかに回復する可能性がある。



【執筆者】 渡部哲也